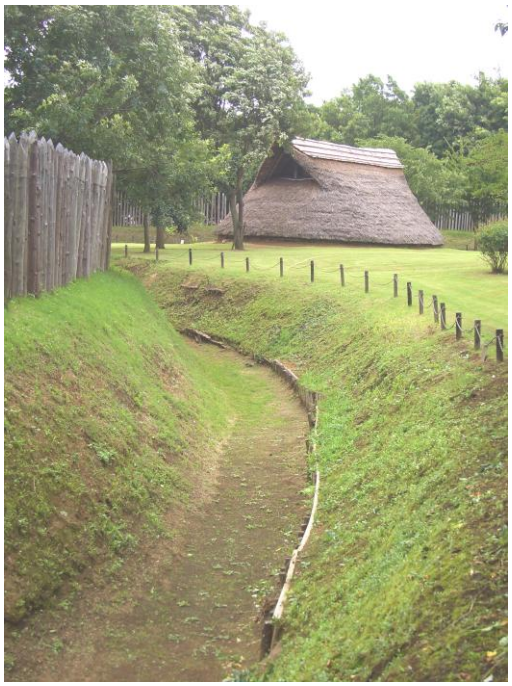
No. 15 2010.9.10

歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ http://rekishikokaidodan.a.la9.jp/
事務局 〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘4-36-21 APT1・2・3-302 宮田太郎（歴史古街道団 団長）
TEL/FAX 042-389-5534

関東にも古代連合王国があったのか？



大塚・歳勝土遺跡（おおつか・さいかちどいせき）

＜東京湾周辺の弥生時代環濠集落と出現期古墳(3C末~4C初)分布図＞

●＝弥生時代の環濠集落
▲＝出現期古墳
○＝忌部関連地の遺跡
（館山市周辺）

【作図イラスト】宮田太郎

東京湾沿岸は弥生遺跡の宝庫

邪馬台国時代の古墳・遺跡を調べる

5回シリーズを開催　**東京湾古代連合王国**

全国で弥生の大集落群が集中しているのは、北九州、大和地方…そして「東京湾沿岸」であった！――という事実を御存じだろうか。次々に発掘調査で明らかになりつつある日本列島の弥生時代の真実。

弥生～古墳時代初頭にかけて広がっていた東京湾岸の大集落遺跡群の中には、縄文後期の色を濃く残す弥生式土器である「須和田式土器」も見つかっており、これはすでに邪馬台国の卑弥呼全盛期以前よりこの湾岸地域が栄えていたことを教えてくれている。

湾に迷い込んだクジラやイルカの漁も行なっていた彼らはどうやって狭い東京湾の中で漁場争いなどの喧嘩をせずに暮らしていけたのだろうか。

湾岸に広がっていた弥生時代の人々は決して同じ文化・同じ民族ということではなかった。彼ら言語・文化・風習も違う人々は、東京湾の漁場争いを避けるために、数年に一度、湾の中央に船を寄せて集まり、ある儀式を行なうことで連帯意識を高めていたのだろうか。はたまた集中する漁の時期や漁場をうまく分ける協定を結び平和に暮したのだろうか。東京湾沿岸では、防衛のための施設とも考えられる“環濠”を持つ集落群が弥生後期の卑弥呼時代に最も多くなりピークを迎える（＊卑弥呼が亡くなったのは247年頃）。

しかしながら吉野ヶ里のような戦闘の証はまだ見つかってはいない。そもそも“環濠”とは、雨水から集落を守り、外部との間の区切りを明確にするものにすぎなかったのか。

全国では吉野ヶ里遺跡（佐賀県）、原の辻遺跡（長崎県）、淀江・洞ノ原遺跡（鳥取県）、池上曽根遺跡（大阪府）、唐古・鍵遺跡（奈良県）、朝日遺跡（愛知県）など環濠集落遺跡は次々に見つかっている。やや遅れながらも弥生中期後半頃から環濠集落が造り始められる関東の横浜エリアは、邪馬台国が大和であった場合にその関東分国であった可能性は全くないのだろうか。あるいはまったく別の独立した連合王国であったのか。最近では卑弥呼を倒した狗奴国の勢力範囲であったという説も出ている。東京湾まで拡大すべきその謎と歴史のロマンは尽きない。

今年の秋から来春にかけて、これらをテーマにした現地探索シリーズを開催します。古代史フアンの皆さんも、またこれから現地歩きを始めたい方も、身近でありながらあまり気にしなかった「東京湾」の古代史ロマンに着目してみましょう。
＜調査内容は2～3面をご覧ください。＞

宮田 太郎（歴史古街道団団長）

No.15

ウォーキングガイドをする宮田団長

東京湾古代連合王国のロマン

宮田太郎団長と行くロマンウォーク

東京湾古代連合王国ウォークシリーズ

新たな視点で各地の歴史を探る古街道団の探索活動は、いつも独自性あるテーマで面白いですね――と、よく言われます。いつも最前線の歴史ロマンを取り上げて、一味も二味も違う「オリジナルテーマ」での活動に徹してきました。それは決して無理をしているのではなく、自然と「道」を探究しているうちにそうなってしまうからです。会員のみなさんの声に応えて出来得る限り土日を団長のテーマ・ウォークにあてるよう改善していますが、平日の方が参加し易いという方も多く、バランス良く日程を選ぶのが難しいところです。今回も4年ほど前から宮田団長が精力的に現地調査をしている東京湾の弥生時代のロマンを取り上げてみます。みなさんの奮ってのご参加をお待ちしています。

■ 2010年 10月2日(土)

『横浜・港北の弥生遺跡と忌部(いんべ)の伝説① ～大塚・歳勝土遺跡と茅ヶ崎杉山神社～』

【内容】東京湾沿岸でもっとも弥生の環濠集落遺跡が集中するのは、「横浜市港北区」です。しかも、それは前代の縄文時代遺跡群の集中地域に重なるかのようでもあり、関東の弥生時代が一足飛びに出来たのではないことも見えてきます。港北ニュータウン付近で確認された環濠集落の数は現在10数箇所。本来は同エリアだけでも30箇所以上があった可能性もあり、これは全国でも突出する規模と数です。著名な大塚・歳勝土遺跡は一部が港北ニュータウン内に保存され復元されています。また、かつて弥生時代に房総半島先端の館山や三浦半島一帯に入ってきたともいわれる忌部一族の姿を杉山神社と港北の弥生遺跡の関係から探っていきます。また集落内住居のオンドル(朝鮮半島によく見られる床暖房)の跡？など珍しい遺構も探ってみましょう。

【コース】横浜市営地下鉄「センター北駅」改札口前に10:00集合～中川杉山神社～センター北駅北側の環濠集落跡地～横浜市立博物館見学～昼食（駅前で自由。弁当持参の方は歳勝土遺跡公園などで）～大塚遺跡（環濠集落）と歳勝土遺跡（方形周溝墓群）～茅ヶ崎城～センター南の茅ヶ崎杉山神社と貝塚遺跡～センター南駅解散（行程約４キロ。解散は 15:30 頃）

■ 2010年 11月16日(火)

『逗子・池子の弥生遺跡と東京湾船越し古街道』

【内容】湘南海岸の逗子の町はかつて内海が入り込み今よりも平地は少なかったとみられています。しかしながら弥生遺跡は多く、池子弾薬庫跡地の遺跡は静岡県の登呂遺跡と同様に大量の弥生時代の木器類(農具や生活用具)や鹿の骨の卜骨が見つかっています。それに続く前期の前方後円墳も2基(神奈川県最古で最大級)、最近になって丘の高台で発見されました。実は町の奥地に入って行くとあっという間に東京湾に抜けられ、これらの遺跡はまさに三浦半島の先端まで行かなくとも相模湾と東京湾を短絡路で結ぶことができる古街道に沿っていることがわかるのです。
新視点でみる逗子の遺跡探索・弥生編は船越交通路と遺跡の関係がテーマです。

【コース】JR横須賀線「逗子」駅東口改札前に10:00集合～海宝院（町田市小野路の小野神社梵鐘）～池子遺跡（弾薬庫跡。弥生時代遺跡）～昼食（逗子駅前で自由）～持田遺跡（弥生時代遺跡）～船越し古道と切通し～横須賀市船越町～京急本線「田浦駅」またはJR横須賀線「田浦駅」（行程約５キロ。解散は15：50分頃）

■ 2010年 12月18日(土)

『横浜・港北の弥生遺跡と忌部(いんべ)の伝説② ～新吉田の杉山神社と弥生の大遺跡群～』

【内容】前回10月２日に訪れた大塚・歳勝土遺跡の東方が今回のテーマ地域。勝田から新吉田町にかけては多数の環濠集落や弥生集落遺跡が密集して発見されたとても貴重なエリアです。すでにニュータウンに変わり消滅してしまった遺跡や、今も田園風景の中に広がる未知の遺跡群、謎に満ちた忌部氏ゆかりの神社、新たに発見できた鍛冶工房遺跡？など、わくわくするような古代史ロマンが広がっています。新横浜も近いのどかな丘陵を探索していきましょう。

【コース】横浜市営地下鉄「センター北駅」改札口前に10:00集合～大棚の龍福寺から清林寺への尾根～早淵川～早淵公園～北川表遺跡、権田原遺跡の跡地～昼食（数件の飲食店で自由）～新吉田の古代遺跡地帯～杉山神社～東京銅器前バス停～綱島・日吉・センター南駅行きバス（行程約６キロ。解散は15：50分頃）

ウォーキングの共通参加事項

- ◆参加費＝団員700円(ご夫婦は 2 人で 1,000 円)
  一般は1人 1,000 円。
- ◆持ち物＝雨具、飲み物持参。昼食は飲食店利用の場合と各自弁当の場合がありますので詳細は各案内参照。
- ◆雨天の場合は基本的には中止(ただし小雨の場合実施することがあります。朝7:30までに実施の有無をお問い合わせ下さい。)

【お問合先】宮田団長の携帯電話 090-7002-3431 まで

を探るシリーズ！！

■ 2011年 **1月22日(土)**

『王子・飛鳥山遺跡・弥生の環濠集落の謎』

【内容】東京湾沿岸で弥生の環濠集落が発見された飛鳥山遺跡は、将軍・徳川吉宗が庶民の娯楽のために植えた桜の名所「飛鳥山」から発見されました。今でも古墳がみられる飛鳥山は、縄文時代のカヌー群や日本一厚い堆積層である貝塚の発見で知られる中里遺跡の上の台地にあり、古代東海道や鎌倉街道もすぐ近くで交差しています。また、大晦日の狐参りで有名な王子稲荷や熊野信仰の王子神社は石神井川が東京湾に注ぐ河口付近にあり、滝ノ川や音無川の名前で親しまれる渓谷、名主の滝、不動の滝など七滝があった江戸時代の観光名所でした。かつての東京湾岸の古代風景を想像しながら探っていきましょう。

【コース】JR京浜東北線「王子駅」中央改札口前に10：00集合～王子神社～蝉丸塚～王子稲荷～装束稲荷～王子駅前で自由昼食～音無川～不動の滝跡～弁天の滝跡～飛鳥山（飛鳥神社跡、カワラケ投げの名所、江戸期の花見の丘、飛鳥山桜の碑、環濠集落遺跡の跡～古墳～飛鳥山資料館～王子駅(行程約５キロ。解散は15：50頃)

～町田市観光コンベンション協会と初の協同企画～

鎌倉古道・真実の痕跡を探るウォーク

これまで、多摩丘陵における鎌倉古道の実地踏査や発掘調査をしてきましたが、その結果から推定される“真実のルートはこれだ”という、当団の宮田団長の自説ルートをもとに歩きます。町田市の観光ガイド養成講座に合わせた協働の企画として実現するもので、町田市から多摩川までのルートを3回に分けて実施します。定員になり次弟締め切りのため、参加ご希望の方はお早めにお申し込みください。

＊ガイド＝宮田太郎氏（歴史古街道団団長）と
　　歴史古街道団員ガイド＆町田観光ガイド
＊定　員：100名
＊参加費：1，400円（昼食・保険・資料代含む）
＊申　込：町田ツーリストギャラリー FAX 042-850-9312

◎1 回目＝9月26日（日）町田市旭町「サン旭体育館」入口前10：00集合～本町田の古道跡～ダリヤ園（昼食）～七国山～野津田（約６㎞。解散は 15：50 頃）

＜今後の予定＞
◎２回目＝12 月５日(日)◎３回目＝来年２月下旬予定

※町田市コンベンション協会…2009 年 4 月に町田市に誕生した観光の新たな情報発進基地。フットパスやガイド養成、商工振興に力が入れられ、今年9月から歴史古街道団とも企画提携を実施。

【問合せ先】
町田ツーリストギャラリー　℡ 042-850-9311
産業観光課　℡ 042-724-2128

安房館山・船形の崖観音

日帰りバスツアー

『安房国・建国物語』
～四国阿波からやってきた忌部氏遺跡を探る～

2011年
2月26日(土)8：30 集合

【内容】房総半島の先端は古代以来の安房の国。かつて弥生時代～古墳時代に四国阿波徳島や讃岐地方から来住した忌部（いんべ）氏たちが開拓した地。館山湾を望む高い崖に立つ観音堂から湾沿岸の忌部遺跡ゆかりの地を半島の先まで巡っていきます。

忌部氏こそ先祖が天磐戸神話に登場する天太玉命に始まる日本開拓の一族。四国、紀州、奈良・飛鳥の地の開拓、安房国建国ばかりか武蔵国建国にも大きく関わった可能性があります。館山の海蝕洞窟遺跡や巨岩祭祀遺跡などの古代遺跡群と伝説地は訪れる者を圧倒します。最後に訪れる忌部上陸の地、男神山・女神山と布良（めら）海岸の風景は神話画家・青木繁の心をもつかんで離さなかった神秘の浜。まさに未知の古代史の魅力満載、感動の旅となることでしょう。

【コース】JR川崎駅改札口前（びゅうプラザ前）8：30集合～東京湾横断道路～海ほたる（小休）～館山道路～館山船形の崖観音～館山市内で昼食（予約会食）～船越鉈切神社～海南刀切神社と巨岩祭祀遺跡～座席山（忌部伝説の砂丘）～安房神社と忌部塚～布良崎神社～布良海岸（男神山と女神山）～館山道路～海ほたる～JR川崎駅解散（18：30頃を予定）

【参加費、申し込みなど】☆定員/35 名（大型バス）　☆参加費/ひとり 7,000 円（保険代含む）＊昼食代は別途個人負担　☆申込締切/２月 15 日。参加希望の方はお早めにお申し込み下さい（先着順）。☆申込方法＝古街道団本部へ FAX または団長・宮田のメールまで。申し込みをされた方にはツアー７日前までに団本部より確認の電話・メールを入れます。連絡がない場合はお申し出下さい。
☆FAX：042－389－5534（TEL も同じ）
☆宮田メールアドレス：kokaido@r3. dion. ne. jp

学 習 会

2011年 **2月6日(日)13：30～15：30**

地図から探る、『新田義貞鎌倉進撃路』
生品神社～多摩川

●講師：山下　実（団員）
●会場：多摩市関戸公民館・大会議室（VITA8階）
　　（京王線「聖蹟桜ケ丘」西口から徒歩３分）
●会費：500 円（一般 700 円）、当日受付

【内容】 元弘3年（1333）上野国生品神社で挙兵した新田義貞の軍勢が鎌倉に向かった道筋として世良田からの南下説以外に、西方の八幡荘や八幡原を通過した説があるが、義貞はどの道を通り鎌倉に向かったのか？先学者の文献・市史などを参考に3通りの道筋を地図に落とした研究考察をお話します。

ガイド・リーダーと行く史跡探索

好評！ サンデーウォーキング
第２日曜日は、多摩よこやまの道を歩こう！

参加費/団員300円、一般500円
ガイド：須知正度（団員）（連絡先/☎090-3695-7580）

【内容】本年4月から始まった、「よこやまの道・サンデーウォーキング」は、好評のうちに実施しています。これから、秋から冬へと違った顔を見せる「よこやまの道」を楽しみましょう！

【東コース】10月10日（日）、12月12日（日）、2月13日（日）、京王相模原線若葉台駅9:30集合。
（解散は 13:00 頃）

コース：丘の上広場～さくらの広場～（瓜生黒川往還）～もみじの広場～防人見返りの峠～並列古道跡（推定・古代東海道跡）～古道五叉路～京王多摩車庫方面へ

【西コース】11月14日（日）、1月9日、小田急多摩線唐木田駅9:30集合。
（解散は 13:00 頃）

コース1：総合福祉ｾﾝﾀｰ～（奥州廃道）～小山田緑地分岐路～ｶﾞｽﾀﾝｸ裏～奥州古道(常盤ルート)～正山寺・鶴見川源流～唐木田配水場～長池公園経由京王堀之内駅へ

コース2：総合福祉ｾﾝﾀｰ～（奥州廃道）～古戦場塚跡他～中坂公園裏～石仏群(奥州古道）～一本杉公園～炭焼き小屋(鎌倉裏街道)～旧有山家・加藤家住宅～妙櫻寺(鎌倉古道）～京王多摩車庫方面へ

※3 月は 13 日（日）に西コース、27 日（日）に東コースを予定しています。

●2010 年 10 月 16 日(土)
朝比奈切通し、六浦道を探る

ガイド：藤田一彦（副団長）

【内容】朝比奈切通しは仁治二年（1241）工事に着手したと吾妻鏡にあり、鎌倉と六浦の港を結ぶ重要な道であった。しかし頼朝が鎌倉に居を構えた時からこの道があったわけではなかった。それ以前はどこを通っていたのだろうか。梶原景時に謀殺された上総介広常の屋敷があったと伝えられている場所や鎌倉郡峠村の鎮守熊野神社の位置から、朝比奈切通し開削前の鎌倉・六浦間の道を探ります。

今でも昔のおもかげを残している朝比奈切通しも併せて歩きます。

【コース】JR横須賀線「鎌倉駅」東口改札前10:00集合～バスで十二所神社～梶原太刀洗い水～三郎の滝～朝比奈切通し～熊野神社～旧峠村～金沢側から尾根道で鎌倉側へ～十二所神社～鎌倉霊園休憩所で昼食（少し遅い昼飯になります）～光触寺～明王院～梶原井～バスで鎌倉駅へ（15：00 頃解散予定）

連絡先：藤田一彦　☎080-5184-9840

ガイド・ウォークの共通参加事項
・参加費＝団員/500円　一般/700円
・現地申込　・弁当・雨具持参

●2010 年 11 月 7 日(日)
一遍上人の当麻への道を探る

ガイド：中丸三次（団員）

【内容】相模原市南区当麻にある当麻山無量光寺は、開山が一遍上人とも真教上人とも言われているが、弘安二年信州善光寺に参詣した一遍は、その年の暮れ、善光寺から伴野(長野県佐久市)に行き、初めて空也上人の先例に倣い念仏修行をした。承久の乱後、佐久に配流された叔父、河野通末の霊を慰めたいとの意図であったとされている。

その後、江差(岩手県江刺市)を後に弘安三年冬、浜通りを南下し常陸から武蔵の石浜(台東区石浜町)につき、隅田川に沿って武蔵国に入った。鎌倉へ入る交通路としては、府中から南下して多摩川を渡るコースがあると記されている。当麻は中世交通上の要路で、市も開かれていたから一遍がここを布教の地と定めたのも自然だろう。今回は下記コースで当麻行を試みる。

【コース】JR横浜線/古淵駅改札口前9:30集合～古淵駅－淵野辺新田－河本ファーム－淵野辺公園(弁当昼食)－下古山－当麻－無量光寺(当麻宿)－JR 相模線/当麻駅（16：00 頃解散予定）

連絡先：中丸三次　☎042-676-3724

(財)東京市町村

万葉時代ウォーキ

多摩よこやまの道を歩く防人一行　(2009 年)

歴史古街道団恒例の「防人（さきもり）まつり」を今年も 10 月 31 日（日）に開催します。多摩地域ならではの独自のまつりを創造しよう…と継続し、6 回目となる今年は、より多くの地域の人たちと一緒に作りあげ参加してもらうため、多摩市連光寺や聖ヶ丘の皆さんの協力のもとに「さきもりまつり 2010 実行委員会（富澤政宏委員長）」を組織し、企画運営しています。団員の方々も多数参加され、ウォーキングやメイン会場でのお手伝い等のご協力をお願いします。

☆集合・出発は・・・　歩くコースは、府中市出発のAコース(約8㌔)と多摩市出発のBコース(約4㌔)。ウォーキングの途中では歴史古街道団スタッフが古代東海道や防人の歴史にちなんだ説明を各ポイントで行います。

●2011 年 1 月 16 日（日）
御殿峠から「絹の道」へ

ガイド：各務湘一（団員）

【内容】御殿峠を越える八王子厚木往還（鎌倉古道）は気持ちのよい木陰の道です。百年前まで幹線道路として使われていた路ですが、古道の形状もよく残っています。戦国武将が行き来した道でもあり、武相の困民が示威行動を行ったのもこの峠道でした。鑓水峠（道了堂跡）を越える「絹の道」は幕末維新期に八王子近辺の輸出用生糸を横浜に運ぶ道（浜街道）でした。

貴重な自然と歴史の遺る道です。危険な箇所は避けながらも、峠道の変遷が実感できるように辿ろうと思います。

【コース】JR横浜線相原駅改札口9:30集合～旧町田街道～旧八王子厚木往還（鎌倉古道）～御殿峠～光宝院前～御殿山

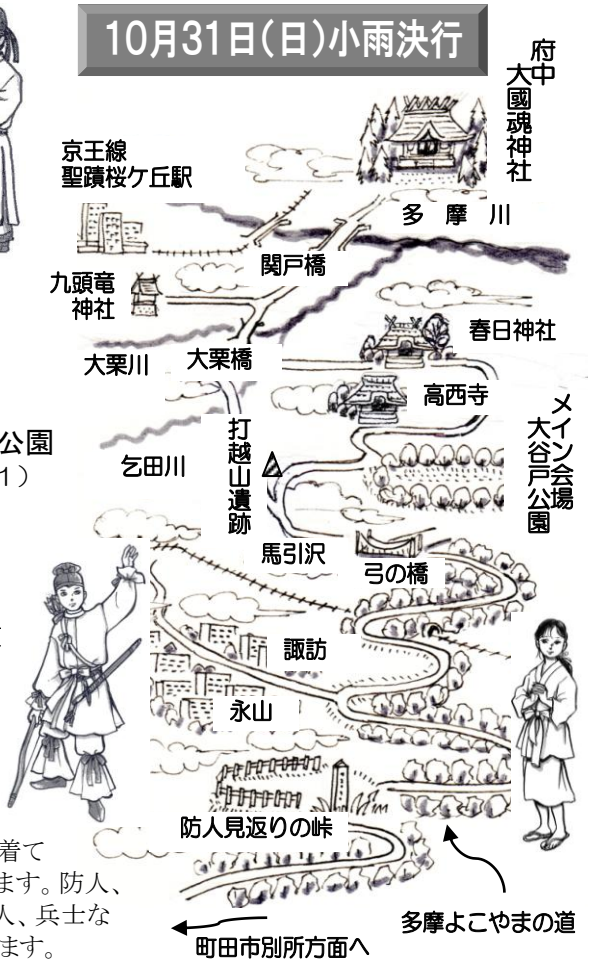
自治調査会・多摩交流センター助成事業

古代東海道ング

さきもりまつり2010

10月31日(日)小雨決行

地域の祭りをめざして初の実行委員会での開催！



●Aコース　8:30集合
　府中市・大國魂神社正面大鳥居前
●Bコース　10:00集合
　多摩市・聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前
　＊参加費500円(中学生以下無料)
　＊弁当持参
　＊申込み＝当日集合場所。
後援/府中市、多摩市、町田市、各教育委員会
協力/町田市観光コンベンション協会、多摩らいふ倶楽部、NPOみどりのゆび、他

☆ウォーキングコース

●**Aコース**（ロングコース）府中大国魂神社～史跡武蔵国衙跡～分倍河原・中河原の古道～関戸橋～大栗橋～多摩市・連光寺大坂～春日神社～高西寺～打越山遺跡～メイン会場/大谷戸公園（昼食・各自用意）～聖ヶ丘～馬引沢南公園～多摩よこやまの道～防人見返りの峠（防人と家族との別れのシーン再現、第一次終点）～並列古道跡～古道五差路～町田市・別所（最終解散）

●**Bコース**（ショートコース）
聖蹟桜ヶ丘駅～大栗橋～以降はＡコースと同じ

☆まつりメイン会場

11:00～14:00

【場所】多摩市立大谷戸公園
（多摩市連光寺 5-17-1）

【催し物】万葉歌朗詠（今野耕作先生）、時代衣裳の万葉人・防人登場、多摩のむかし野菜販売、抽選会、小物・物産販売、歴史古道マップ・古街道資料などの販売と配布などを予定しています。

☆募集中です・・・

①古代衣装の出演者
大谷戸公園で古代衣装を着て登場する出演者を募集します。防人、防人の妻と子供たち、村人、兵士などです。若干の謝礼があります。

②出店者・ボランティア
大谷戸公園で野菜・小物・資料販売をする方を募集します。お気軽にお申し出ください。

【応募要領】応募くださる方は、①②の何れに応募されるのか、また住所、氏名、電話番号を明記して、歴史古街道団事務局へお送りください。ウォーキングの際に役員へ直接お申し出いただいても結構です。

☆実行委員会は・・・

下記日程で行います。出演者及びお手伝いが出来る方は必ず参加してください。
9月25日(土)、10月9日(土)
○時間：13:30～　○場所：**志学サロン**（多摩市連光寺 2、高西寺前）

☆写真展も開催・・・

「さきもりまつり 2010 写真展」の作品を募集。
「さきもりまつり 2010 写真展」を、来年1月に開催する予定です。楽しい祭りの様子など、素敵なスナップ写真をお気軽にご応募ください。応募要領は防人まつり当日、参加者に配布する予定です。　＊＊＊

尾根道～「絹の道記念碑」（鑓水峠）～「絹の道」～「絹の道資料館」（昼食）～嫁入橋（鑓水中央バス停）～小泉屋敷～小山内裏公園入口（浜見場）～京王相模原線多摩境駅解散（15：00 頃を予定）
連絡先：各務湘一　☎042-338-8012

●2010 年2月19日(土)
新田義貞の鎌倉攻め ～攻防の要となった鎌倉の尾根を歩く～

ガイド:藤田一彦（副団長）

【内容】去る 4/17（土）に企画していたウォークですが、当日荒天だった為に同じ内容で再度企画しました。

元弘三年（1333）五月、新田義貞は巨福呂坂、化粧坂、極楽寺坂より鎌倉を攻めたが、幕府軍の防衛線を破ることができず、潮の引いた稲村ヶ崎の浜辺を通ってようやく鎌倉へ侵攻することを可能にしたのは、極楽寺の子院・仏法寺のあった霊山を新田軍が占拠し、浜辺を通る軍勢に横矢を射て侵攻を妨げていた幕府軍を排除することが出来たからでした。尾根に設けられた防衛施設と思われる遺構（一升枡、五合枡）、仏法寺（霊山寺）跡と、大仏の切通しを訪ねます。歩行距離は短いですが、少し健脚向きのコースになります。

【コース】JR横須賀線「鎌倉駅」東口改札前10:00集合～バスで「火の見下」～大仏切通し～長谷配水池～一升枡遺構～極楽寺のあたりで昼食～五合枡遺構～仏法寺跡～江ノ電極楽寺駅又は稲村ヶ崎駅（15：00 頃解散予定）
連絡先：藤田一彦　☎080-5184-9840

予　告

2011 年３月６日(日)山下 実(団員)
「高月城・滝山城と鎌倉道を訪ねる」
2011 年３月 20 日(日)佐藤文俊(団員)
ハケの道Ⅵ「国分寺崖線」

目の前に神話の情景が浮かぶ島

壱岐一ノ宮・天手長男神社

壱岐・対馬の一ノ宮をたずねて

中尾　勝義　（団員）

今年の4月14日から16日の3日間、宮田団長を講師とする「壱岐・対馬の古代史を訪ねて―日本と朝鮮半島をつなぐ歴史の島」の旅(主催　朝日カルチャーセンター・郵船トラベル)に参加してきました。

私の参加目的は、テーマに興味があったのはもちろんですが、両島の一ノ宮をお参りすることでもありました。私は平成13年12月より家内と一ノ宮廻りの旅を続けてきておりますが、現在ほぼ本州の一ノ宮廻りをすませたところで、平成23年中の終了をめざしています。

今回は、14日に壱岐の天手長男神社、15日に対馬仁位の和多都美神社、16日に対馬木坂の海神神社をお参りしてきました。

壱岐一ノ宮・天手長男神社（あめのてながおじんじゃ）

壱岐対馬は、延喜式では五畿七道の外の「国」ではない「島」として扱われています。壱岐対馬は、日本の内ではあるが完全な内輪とはいえない、海のかなたの朝鮮および大陸にかかわっている特殊な地域と見なされていたと想像されます。壱岐対馬をふくめた西海道には式内社が107座ありますが、そのうち壱岐には24座、対馬には29座と集中しています。これは、勝手な想像ですが、白村江の敗戦以後の国の防衛ということにも関わりがあるのでしょうか。

壱岐の一ノ宮は天手長男神社(あめのてながおじんじゃ)で、主祭神は天忍穂耳命(アメノオシホミミノミコト)です。この方は、天孫降臨神話で有名なニニギノミコトの父親です。まことに不思議なことに、この神社は、「一宮巡詣記」を著した平戸藩の国学者である橘三喜が、延宝4年(1676年)に探索し特定するまでは、壱岐では忘れ去られていました。橘三喜は、「一宮巡詣記」に「天手長男神社は、壱岐国宗廟たりといえども、跡かたもなく」と記しておりますが、橘三喜は式内社24座を歩き、この地に神鏡1面・石仏2体を掘り出しました。ちなみに、石仏は平安中期の弥勒仏で国指定重要文化財です。社殿は、平戸藩主の命により元禄元年(1688年)に建造されました。

社殿は、神の山らしい姿のよい鉢形山にありますが、そこに至る100段ほどの石の階段は粗末で崩れそうです。拝殿は、一応入母屋造の妻入りですが、剥げかけた黄色のペンキ塗りの外壁がいかにも侘しい。本殿は、ブロックの土台にバラックか物置という感じで、かなりひどく、この神社の歴史的経緯からして、支える氏子が少ないのかもしれません。

橘三喜の査定に対しては、後代必ずしも信頼されていないようで、芦辺町の国分寺近くの興神社を天手長男神社とする説もありますが、決め手はありません。そのせいか、明治以降も一ノ宮でありながら村社の社格しか与えられなかったようです。ほとんどの一ノ宮は、明治以降、官幣もしくは国幣の待遇を受け、ごく一部が縣社どまりとなっていますが、一ノ宮で村社というのはここだけです。

海へ向かって鳥居が続く、和多都美神社

対馬仁位・和多都美神社（わたつみじんじゃ）

対馬の一ノ宮は、木坂の海神神社(かいじんじんじゃ)ですが、それに準ずる神社として仁位の和多都美神社(わたつみじんじゃ)があります。

仁位の和多都美神社は、対馬のほぼ中央あたり浅茅湾の入江の奥深く位置します。西にひらけた入江の海中に鳥居が立ち、その正面の海岸に、いかにも海風に長年吹きさらされたといった感じの社殿が、夫姫山に包みこまれるように建っています。拝殿はふつうの春日造りで本殿は神明造りとチグハグな様式ですが、何しろ社殿を中心とした一帯の自然の風景がすばらしい。古来変わらぬ風景でしょう。神話の情景が目にうかびます。

兄の海幸になくした釣り針を返せと責められた山幸(天孫ニニギノ命と大山祇神の娘コノハナサクヤ姫の間に産まれた息子である彦火火出見尊―ヒコホホデミノ命)は、ふるさとの大隈国より釣り針探しの旅に出て、この地にたどり着きます。山幸は釣り針を得、豊玉姫をめとり、この地に滞在３年の後、大隈国にかえります。ふたりの間にはウガヤフキアエズノ命が誕生し、命は母の妹である玉依姫と結婚し、神武天皇の誕生へと神話は続きます…。

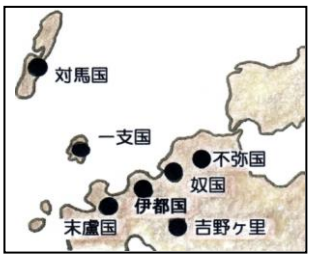
和多都美神社の主祭神は、豊玉姫命と彦火火出見尊(山幸)。本殿の奥の竹林の中に奇怪な岩の塊があり、豊玉姫の墓と称しています。境内前の池の中には、亀甲状とも柘榴状ともつかぬ、縦横にひび割れた岩があり、神功皇后の親征を助けた海神である磯良(いそら)石と伝えられています。

私たちが訪れたときは、ちょうど干潮で前面の海は、干潟になっていましたので、残念ながら海に浮かぶ鳥居を見ることはできませんでした。機会があれば、西日を真っ向から浴びた鳥居に潮がひたひたと浸してくるさまをゆっくりと見てみたいものだと思いながら和多都美神社を後にしました。

対馬一ノ宮・木坂の海神神社（かいじんじんじゃ）

３日目に訪れた木坂の海神神社(かいじんじんじゃ)は、みごとな照葉樹林の原生林(天然記念物)におおわれた伊豆山に抱かれて、外洋である対馬海峡にまともに面して建っています。主祭神は豊玉姫命。ジグザグに折れ曲がった300段ほどの階段を上りつめた奥の社殿は、仁位の和多都美神社よりはるかに立派です。原生林に囲まれた人っ子ひとりいない境内の静けさがなんとも気持ちがいい。木坂の集落でも海神神社神域でも、とうとうひとりも人に会いませんでした。

厳原への帰路に和多都美神社に立ち寄ってみましたら、運よくちょうど満ち潮で、潮に浸される海中の鳥居と神社の様子を見ることが出来、満足して対馬を後にしました。



（邪馬台国時代）

2010年定期総会終了

今年度の活動方針と
新役員体制決まる

第六回定期総会は5月30日(日)13:30から出席者44名、委任状提出者57名のもと関戸公民館大会議室で開催された。藤田副団長から昨年度の一般活動報告に続いて決算報告、会計監査報告、今年度の活動方針と予算、今年度の役員候補が提案され、ともに承認されました。

総会終了後、歴史古街道団団長、宮田太郎氏による『新視点！飛鳥真神人と古代武蔵国の都市設計』と題した講演があり、題材がよかったのか一般の方々の出席者が42名と大変多く全体で86名と盛会に終了しました。

☆今年度の活動計画

歴史古街道団結成以来、活動の基本目標である『歴史の道を活かしたまちづくり・コミュニティーづくりへの提案』に基づき、1、啓蒙活動と地域交流 2、歴史古道の保全と活用 3、歴史古道・遺跡、民俗資料の調査研究 等と活動方針が決定しました。なお、今年度の「さきもりまつり 2010」では 連光寺、聖ヶ丘地区の方々にご協力いただき、現在、準備を進めています。

お知らせ

▼みやた団長と行く
北海道フットパス IN 黒松内

①10月16日(土)
日本フットパス協会の理事会、フォーラムほか。

②10月17日(日)
北海道・黒松内のフットパスを楽しみます。
＊詳細は歴史古街道団団長　宮田
☎(090-7002-3431)

▼府中市『ふるさと発見！武蔵府中歴史まつり 2010』

①10月30日(土)・31日(日)
"熊野神社古墳まつり"
★30日は前夜祭
★31日は古墳時代衣装パレード他

②11月3日(水・祝)
国司＆防人パレード（けやき並木）
フォーラム（ルミエール府中）ほか。

※歴史古街道団が「さきもりまつり」の古代衣装を提供・協力しています。

▼お友達をお誘いください
新入団者募集中！

歴史古街道団団員を募集しています。年会費は3，000円（10月以降入団は半年分 1,500円)。入団者はウォーキング、学習会参加費が割引になるほか団報やお知らせをお届けします。入団等に関するお問い合わせは、事務局・濱野まで（☎042-373-7382)。

『歴史の旅』ご案内
（カルチャースクール・ツアー）
講師ガイド：宮田太郎氏

クラブツーリズム主催

【2泊3日ツアー】
『古代出雲王国』歴史ロマンの旅
■コース番号：C4482-950
■日　程：11月7日(日)～9日(火)
■旅行代金：75,800円(1～2名1室)

【日帰りツアー】
『群馬・古代三石碑の謎と高句麗太王の碑文』
■コース番号：C4483-950
■日　程：12月1日(水)と12月4日(土)のどちらか選択＊内容同じ
■旅行代金：9,500円

朝日カルチャーセンター主催

【2泊3日ツアー】
『古代出雲の歴史古道を歩く』
■日　程：10月6日(水)～8日(金)
■旅行代金：110,000円（朝日会員と古街道団団員)、112,000円（一般）

【日帰りツアー】
『千葉成田の古代寺院・龍角寺とピラミッド型古墳の謎』
■日　程：10月24日(日)
■旅行代金：12,500円（朝日会員と古街道団団員)、13,100円（一般）

NHK学園くにたちオープンスクール主催

【2泊3日ツアー】
『丹後国の海人遺跡と元伊勢の古代史』 丹後半島～城崎温泉～出石コース
■出発日：10月19日(火)～21日(木)
■旅行代金：99,000円

※上記のお問合せ/クラブツーリズム＝
TEL03-5323-5566
（9：15～17：30／日・祝休み）
朝日カルチャーとNHK学園＝
郵船トラベル㈱（担当：諸井）
TEL03-5213-6237

2010年度役員体制

○顧問：藤田道男　今野耕作　○会計監査：石井卓治　○団長：宮田太郎　○副団長：藤田一彦　○事務局長：濱野千秋　○事務局次長：須知正度　○事務・会計部：須知正度　斎地カズエ　八木原杲子　山崎ひろ子　河村重雄　○広報部：遠藤邦江　須永洋子　河村重雄　（金子功）

○調査研究部：小林清三　秋田慎子　山下実　（奥村辰三）（中丸三次）（田中次雄）（佐藤文俊）　○地域交流部：天野鑑一郎　田口俊弥　中村敬子　○野外活動部：麻生直昭　中尾勝義　大森満江美　松本英昭
○相談役：河村重雄
※(　)内は協力員

多摩の昔ばなし ⑦

村芝居

井上正吉著
『野翁小咄』より

村芝居とは村のよろこびごとや祭礼の時、村人の寄付の下にプロの役者一団を招いて芝居をすることで時には素人の村人が時代劇を演じたりもして楽しんだものです。この村では氏神さんの社殿修理の後に行われた事がある。秋の取り入れが終わって祭礼日が近付くと村人総出で鎮守さまの境内に舞台を作る村人は親戚や近隣の知人に沙汰をする。当日になると招待を受けた人々は分相応の花をかける。花をかけるとはお金を寄付することでこれは芝居小屋の傍に掲示される。裸電球の吊るされた舞台、ただそれだけだが、テレビもラジオもない時代、何年に一度の村芝居は大変な娯楽だった。この時、この村の出し物は先代萩だった。忠実な乳母がわが子を犠牲にして主君の若君を救うと云う筋書きだったと思う。この真情には村人は涙を流した。夜も更けて芝居は終わる。人々は田舎の夜道をわが家に帰ってゆく。そして村人は明日は舞台の後片付け、又次の日から秋の百姓仕事に従うのである。

（平成十二年発行）

2010年秋～来春までの歴史ロマン古道予定表

注）問合せ欄；(団)＝歴史古街道団　　旅行以外は事前の申し込みは不要です。
探索・学習テーマ欄；歩＝宮田太郎ウォーキング、学＝講演会／学習会、ガイド＝ガイドリーダーウォーク

月日	集合場所･時間	探索･学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
９月20日 （月・祝）	JR横浜線「古淵駅」改札口前 09:45	【歩】奥州古街道を探る④ （相模原市大野台～麻溝台）	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
９月26日（日）	町田市旭町「サン旭体育館」入口前10:00	【歩】鎌倉古道・真実のルートを探る、第1回 (町田市観光Ｃ協会との協同企画)	1400円 (昼食･資料含)	先着100名	町田ﾂｰﾘｽﾄｷﾞｬﾗﾘ ℡042-850-9311
10月２日（土）	横浜市営地下鉄「センター北駅」改札口前10:00	【歩】横浜・港北の弥生遺跡と忌部の伝説① ～大塚・歳勝土遺跡と茅ヶ崎杉山神社～	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
10月6～8日 （水～金）	問合せ	【旅行】『古代出雲の歴史古道を歩く』 朝日カルチャー主催	団員110,000円 一般112,000円	→	郵船ﾄﾗﾍﾞﾙ 諸井 ℡03-5213-6237
10月10日（日）	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！（東コース）	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
10月16日（土）	JR横須賀線「鎌倉駅」東口改札口前 10:00	【ガイド】朝比奈切通し、六浦道を探る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)藤田 ℡080-5184-9840
10月16・17日 （土・日）	問合せ	【旅行】日本フットパス協会の理事会＆フォーラム ＆北海道フットパスIN黒松内	問合せ	→	(団)宮田 ℡090-7002-3431
10月19～21日 （火～木）	問合せ	【旅行】『丹後国の海人遺跡と元伊勢の古代史を探る』　NHK学園くにたちオープンスクール主催	99,000円	→	郵船ﾄﾗﾍﾞﾙ 諸井 ℡03-5213-6237
10月24日（日）	問合せ	【バス】関東三大白鳳仏『千葉成田の古代寺院・龍角寺とピラミッド型古墳の謎』、朝日カルチャー主催	団員12,500円 一般13,100円	10/14〆 先着24名	郵船ﾄﾗﾍﾞﾙ 諸井 ℡03-5213-6237
10月31日（日）	(A)大國魂神社大鳥居前08：30 (B)聖蹟桜ヶ駅西口前 10:00	さきもりまつり2010	大人:500円 中学生以下無料	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
11月3日（水祝）	パレード＝10：00～12：00 フォーラム＝13：30～	『ふるさと発見！武蔵府中歴史まつり２０１０』 国司＆防人パレード、物産展、フォーラム	―	―	府中市文化振興課 ℡042-364-4111
11月7日（日）	JR横浜線「古淵駅」改札口前 09:30	【ガイド】一遍上人の当麻への道を探る	団員:500円 一般:700円	当日	(団)中丸 ℡042-676-3724
11月７～9日 （日～火）	問合せ	【旅行】『古代出雲王国』歴史ロマンの旅 (C4482-950)	75,800円	→	ｸﾗﾌﾞﾂｰﾘｽﾞﾑ ℡03-5323-5566
11月14日（日）	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！（西コース）	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
11月16日（火）	JR横須賀線「逗子駅」東口改札前 10:00	【歩】『逗子・池子の弥生遺跡と東京湾船越し古街道』	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
12月１日（木）	問合せ	【バス】群馬・古代三石碑の謎と高句麗太王の碑文 (C4483-950)	9,500円	→	ｸﾗﾌﾞﾂｰﾘｽﾞﾑ ℡03-5323-5566
12月４日（土）	問合せ	【バス】群馬・古代三石碑の謎と高句麗太王の碑文 (C4483-950)	9,500円	→	ｸﾗﾌﾞﾂｰﾘｽﾞﾑ ℡03-5323-5566
12月５日（日）	問合せ	【歩】鎌倉古道・真実のルートを探る、第２回 (町田市観光Ｃ協会との協同企画)	1400円 (昼食･資料含)	先着100名	町田ﾂｰﾘｽﾄｷﾞｬﾗﾘ ℡042-850-9311
12月12日（日）	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！（東コース）	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
12月18日（土）	横浜市営地下鉄「センター北駅」改札口前10:00	【歩】横浜・港北の弥生遺跡と忌部の伝説② 新吉田の杉山神社と弥生の大遺跡群	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
１月９日（日）	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！（西コース）	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
１月16日（日）	JR横浜線「相原駅」改札口前 09:30	【ガイド】御殿峠から「絹の道」へ	団員:500円 一般:700円	当日	(団)各務 ℡042-338-8012
１月22日（土）	JR京浜東北線「王子駅」中央改札口前10:00	【歩】王子・飛鳥山遺跡・弥生の環濠集落の謎	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 ℡090-7002-3431
２月６日（日）	関戸公民館8F大会議室 (VITA8F)13:30～15:30	【学】地図から探る[新田義貞鎌倉進撃路」 生品神社～多摩川	団員:500円 一般:700円	当日 先着90名	(団)山下 ℡090-5208-3123
２月13日（日）	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:30	【ガイド】定期ウォーキング、多摩よこやまの道を歩こう！（東コース）	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 ℡090-3695-7580
２月19日（土）	JR横須賀線「鎌倉駅」・ 東口改札前 10:00	【ガイド】新田義貞の鎌倉攻め ～攻防の要となった鎌倉の尾根を歩く～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)藤田 ℡080-5184-9840
２月26日（土）	JR「川崎駅」改札口前(びゅうプラザ前)08:30	【バス】『安房国・建国物語』 ～四国阿波からやってきた忌部氏遺跡を探る～	7,000円 (昼食代当別)	2/15 〆 先着35名	(団)宮田 Fax042-389-5534

編集後記　みなさん､長く暑い夏をどのようにお過ごしでしたか。体調を整えて、秋からのウォーキングへのご参加お待ちしています。ホームページにも活動報告、今後のウォーキング・講演会日程を掲載していますのでご覧ください。ご意見ご要望、紀行文等もお待ちしています。

編集責任：歷史古街道団広報部（河村・金子・遠藤）

【発行】 歷史古街道団
事務局：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘 4-36-21 APT1･2･3-302
宮田太郎(歷史古街道団団長) TEL/FAX 042-389-5534
http:// rekishikokaidodan.a.la9.jp/

印刷／㈱東洋工業写真社　℡042-773-2546